



古橋廣之進生家跡（浜名郡雄踏町山崎）

田畑政治とともに水泳ニッポンの礎を築いた古橋廣之進は、昭和3年（1928）9月16日、9人兄弟の3番目で長男として生まれた。父親は体格が良く力持ちで、まつりの時には相撲大会に出るような相撲好きのため、廣之進も「大きくなったら相撲取りになるか、奉公に行くか」と言われて相撲取りを目指していた。普段から弟

や妹の面倒を見ていたが、食事の時などはおかずの取り合いの競争もあり、協調と競争の原理の中で、人生のノウハウを身に付け、手伝いも自らするようになった。



浜松二中時代の廣之進 天皇陛下からの激励（頭を下げているのが廣之進）